

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会		主 査 名：重枝 豊 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名： 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋建築史学の方法論の研究 ・ 東洋建築史学の教育・研究および専門家育成に関する継続的な情報収集 ・ 東洋諸国における建築的遺産の保存と修復に関する調査研究とそれらの情報収集 (基礎的な資料のデータベース化) および国際協力への寄与 ・ 研究成果の公表 (シンポジウムおよび公開研究会の開催と記録の刊行等) など 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	上野邦一 (奈良女子大)、大田省一 (京都工繊大)、岡田保良 (国士舘大)、小野邦彦 (サイバー大)、片桐正夫 (日大)、黒津高行 (日本工大)、重枝 豊 (日大)、中西 章 (東工大付属工高)、西本真一 (サイバー大)、野々垣 篤 (愛知工大)、深見奈緒子 (早大)、福田美穂 (京大)、山根 周 (滋賀県大)、山田幸正 (首都大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2012 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/rekishi/s2/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 11 回若手研究者による公開研究会 (5/9) 参加者数 14 名 加藤直子氏「ガンダラ仏教建築におけるストゥーパの形態に関する研究」 2. 第 12 回若手研究者による公開研究会 (7/18) 参加者数 10 名 川本智史氏「トプカブ以前—15 世紀エディルネ旧宮殿とオスマン宮殿様式の発展」 3. 第 13 回若手研究者による公開研究会 (10/12) 参加者数 13 名 鈴木環氏「オスマン朝影響下のバルカン半島における教会・修道院建築とその保存修復」
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 若手研究者のための情報発信および情報交換の場として役割を果たした。 2. 西アジア・東南アジアを中心に、近年の研究動向や研究状況等が収集できた。 3. 将来のシンポジウムや研究集会等の企画につながる課題等が抽出できた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 一部重要な地域で専門研究者が手薄な状況にある。 2. 予算執行に困難がある (地方の若手研究者への旅費/謝金の支払いができないなど)。